

施工説明書

M 6 4 F W T S 小便器用床フランジ

施工前に必ずお読みください



注意 取り付けされる前に

- ・壁排水便器には使用できません。
- ・排水管はVP・VU50を配管してください。
- ・製品を改造したり、加工等しないでください。

適用小便器	TOTO	U306(C)	U307(C)	U308(C)	U309(C)
-------	------	---------	---------	---------	---------



この絵表示は、必ず実行して頂く『強制』の内容です。



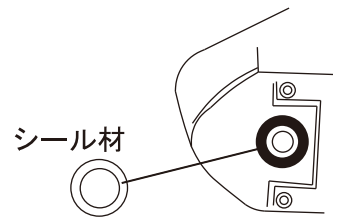
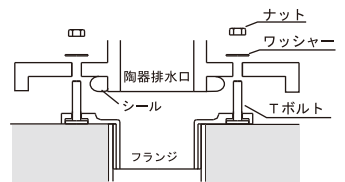
この絵表示は、してはいけない『禁止』の内容です。



- ・小便器と床面で3mmほどの隙間ができるので、小便器下面にかい物をし、白セメント等で隙間処理をしてください。
- ・小便器と床面の隙間をなくしたい場合は、あらかじめフランジが納まるよう床のハツリをしてください。

施工要領

1. 排水管を床仕上面と同一になるよう切断し、バリを取ってください。
2. フランジ、固定用ビスの位置決めをしてください。
3. 小便器の指定位置への据付確認をしてください。
4. フランジにTボルト、ワッシャー、ナットを仮付けしてください。
5. VP管はVUリングを外しフランジに接着剤を塗布してください。
VU管はVUリングとフランジの両方に接着剤を塗布してください。
6. Tボルトをはめた状態で、フランジを排水管に差し込み接着し、付属のビスでフランジを床止めしてください。
7. 小便器の排水口部にシール材を取付けてください。
8. 小便器をフランジにシール材を馴染ませながら据付けてください。
9. Tボルトをワッシャー、ナットで締め小便器を固定してください。



※排水管のばらつきによりフランジとの接着剤塗布面に隙間が生じる場合は、高粘度（ゲル状）の塩ビ管用接着剤を使用してください。
（接着が不十分な場合、漏水や臭気上がりの原因となります。）
※小便器排水口外周のごみや水、油分を取除きシール材を取付けてください。
フランジ面も同様です。



※フランジにシール材を取付けると排水管内へはみ出し排水機能を阻害します。
（必ず、トラップ側に取付けてください）
※フランジ用シール材と他のシール材（シリコン等）との併用はしないでください。
接着不良による漏水の原因となります。

